

「ふれあいの郷」整備モデル事業の考察

—アンケート調査—

岩村田・庶務課○清水一郎
 軽井沢担当区事務所 滝沢久寿

要 旨

国有林野事業の新たな息吹き、森林空間総合利用の一環として、軽井沢にログハウス50棟が完成した。

昨年、この事業について、手続き関係を中心に発表したが、今後、この種の事業の参考に資するため入居者を対象にアンケートによる意向調査を行った。

はじめに

当岩村田営林署では、都市住民など各層が多様な目的で自然豊かな森林に入り、探勝、林業体験など様々な活動を行うための長期滞在施設として、「森林の家」建設用地と分収育林をセットで契約する事業と取組んできた。

新規事業のための幾多の難題に直面しながら、関係者一同の深い理解と協力により完成した。

昨シーズンを自然とのふれあいの中で過ごされた入居者50家族を対象にアンケートにより意見、感想をとりまとめた。

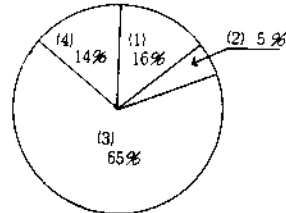
I 実施方向と回収率

1. 設問は、択一式及び記述式で実施した。
2. 回収率は80%（入居者50人中40人回答）

II アンケート内容及び結果

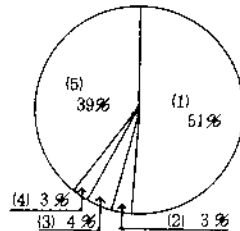
1. あなたは「ふれあいの郷」のことを何で知りましたか。

(1)テレビ、(2)ラジオ、(3)新聞、(4)知合い、(5)その他、



2. あなたの申込まれた動機について

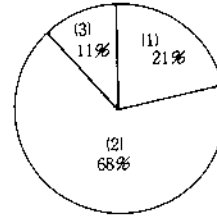
- (1)軽井沢だから
- (2)森林の家が欲しかったからどこでもよかった
- (3)値段が手ごろだったから
- (4)借地できるから
- (5)国の事業で信用できるから



3. 「ふれあいの郷」についてお答えください。

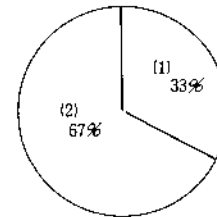
環境は

(1)特によい、(2)良い、(3)普通。



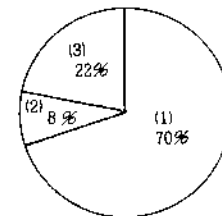
地形は

(1)傾斜地が良い、(2)平坦地が良い。



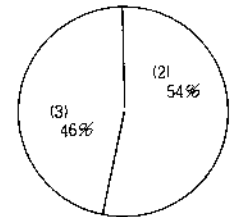
駐車場は

(1)敷地内に欲しい、(2)少し離れても欲しい、(3)必要ない。



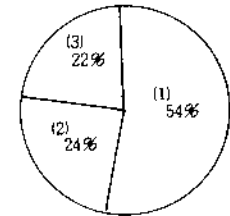
敷地の大きさは

(1)大きすぎる、(2)手ごろだ、(3)小さい。



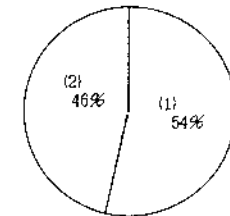
道路は

(1)舗装した方がよい、(2)砂利道でよい、(3)どちらでもよい。



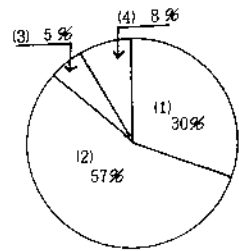
交通条件は

(1)駅から遠い、(2)手ごろだ、(3)遠くもよい。



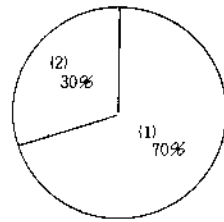
森林の家の規模は（一団地）

(1)30戸, (2)50戸, (3)100戸, (4)何戸でもよい。



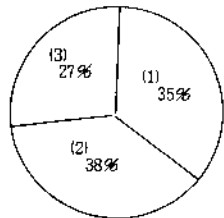
暖房用（薪）について

(1)必要, (2)不要。



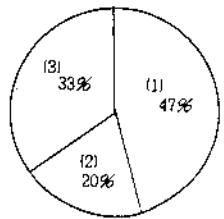
森林の家で正月を迎えますか

(1)迎える, (2)迎えない, (3)決めてない。



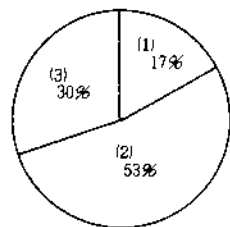
4. あなたは森林の家（ログハウス）をどう思いますか。

(1)タイプが少ない, (2)建面積が小さい,
(3)この程度でよい。



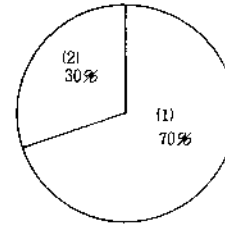
森林の家に

(1)ふさわしい, (2)自由に設計したい,
(3)タイプを指定したことはよい。



値段について

(1)高い, (2)手ごろだ, (3)安い。



5. あなたは「森林の家」ログハウスの住み心地をどう思いますか。

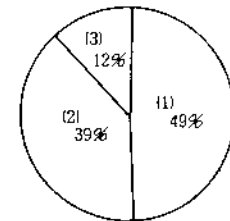
(1)良い, (2)やや良い, (3)良くない。

◎とくに良い点は

(1)自然環境の中の住い,
(2)木のあたたかみ, (3)木の香り, (4)緑と空気。

◎良くない点は

(1)敷地が狭い, (2)浴室, 厨房が狭い。



6. 林野庁が、今後、森林の家を計画する場合はどんな場所又は、留意点があるか教えてください。

1. 場所（地名）

伊豆、蔵王、箱根、清里、日光、富士山麓、草津。

2. 留意点

敷地面積を広く、交通の便（駅から30分以内）、区画の取り方（正方形）近くに、眺望の良い所は、湖のある所地名度の高い所又は温泉地。

7. 林野庁は森林空間利用と言いまして、例えば（ふれあいの郷、運動場、テニスコート等）を考えていますが、その他によい案（希望）がありますか。

1.（ログハウス）で

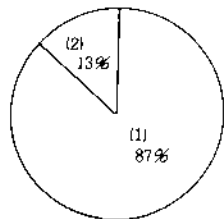
- (1) 林間学校宿泊施設
- (2) 家族向け宿泊施設
- (3) 国民宿舎的安価な宿泊施設

多くの国民が宿泊でき、近くに多目的運動広場、散策コース等が有って自然とのふれあいの中から巾広く森林林業、自然保護等を広めて行く施設

8. あなたに森林の家とセットで分収育林契約をしていただきましたが、その立場でお答えください。

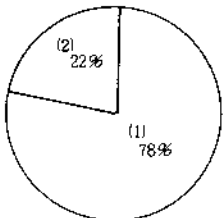
国有林野事業について

(1)関心を持った, (2)持たない。



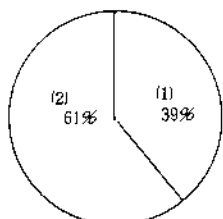
知らない方に伺います

(1)山を見ておきたい, (2)見えなくてもよい。



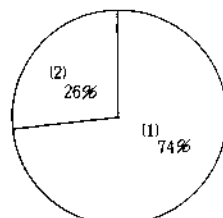
契約した場所について

(1)知っている, (2)知らない。



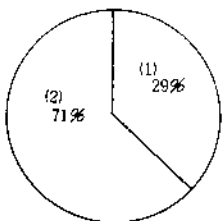
うるおいを感じますか

(1)感じる, (2)感じない。



9. 分収育林は皆さんにご契約いただきましたが、分収造林（自分で植えて育てる）制度のあることをご存知ですか。

(1)知っている, (2)知らない。

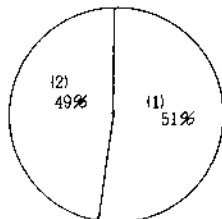


10. 分収造林制度について

(1)関心ある, (2)関心ない。

問い9 問い10 を組合せてみると

- (1) 知っていて, 関心ある 19%
- (2) 知らなくて, 関心ある 32%
- (3) 知っていて, 関心ない 10%
- (4) 知らなくて, 関心ない 39%



11. 管理事務所について、ご希望がありますか。

(1) 年間を通じて、管理人の昼夜の駐在

- (2) 留守中の換気, 冬期間の水道管理
- (3) 樹木及び暖房用薪の斡旋
- (4) 管理人に依頼できる仕事の内容

12. その他、全般的なご意見、希望をお聞かせください。

- (1) ゆとりある大きさの敷地
- (2) 一般車両の通り抜け禁止
- (3) 夜間に明確な案内標示板の設置
- (4) 保安林であっても、伐採後は植樹を条件に制限をゆるめてほしい
- (5) 地形的にゆとりある場合は（隣家との間）多少の増築を認めてほしい

Ⅲ とりまとめの結果 (主要項目)

1. 問い2 申し込んだ動機について

軽井沢だから、と国の事業で信用できるから、の回答が90%を占めている。この結果から、地名度が高く国の事業であり安心して応募したものと考えられる。

2. 問い3 「ふれあいの郷」について

(1) 環境は

特に良い、良いの回答が89%となっていることから満足感がうかがわれる。

当該地は、天然アカマツ70年生、樹高20~25mの広葉樹も含まれた林内で、浅間山が見えるなど、眺望と閑静な所が好まれたものと考えられる。

(2) 敷地の大きさは

小さい、の回答が46%を占めた。区画は1,010㎡~1,251㎡であるが、地形の関係で尾根に向かって長方形に区画したこと、道路から10m以上は緑地帯で残す制約から建物位置が固定され、隣家との距離が近すぎるための批判が、敷地が小さいという回答となった。

(3) 交通条件は

駅から遠いが、54%であるが、当該地は軽井沢駅から7km、車で15分の距離にある。

夏期の交通渋滞が遠く感じさせたものと考えられる。

(4) 森林の家の規模（一団地は）

30~50戸の回答が87%を占めている。特に50戸と答えた方々が57%であることから、一団地の規模は場所、環境にも左右されるが50戸が適当と考える。

3. 問4 ログハウスについて

(1) タイプが少ない、47%。自由に設計したい、53%であった。

この回答は、浴室、厨房が狭いと多くの方が指摘していることから、森林の家にふさわしい好みのタイプ、ゆとりある間取りを求めた回答である。

4. 問6 今後の計画（場所、留意点）について

(1) 場所は

伊豆、箱根、日光等地名度の高い所が好まれ、温泉地などもあげられた。

また、眺望の良さは欠かせない条件であり、近くに湖があるなど閑静な所を求めている。

(2) 留意点は

交通の便の良い所。区画の取り方敷地は地形によってゆとりある広さを求めている。

IV 考 察

今後、この種の事業促進に当たって

1. 選定条件

- (1) 知名度が高い所
- (2) 交通の便（通年バス運行、駅から30分以内）
- (3) 近くに、眺望の良い所又は、湖があり閑静な所
- (4) 平坦地で、大径木が含まれた針広林内で閑静な所
- (5) 一団地の規模は50戸が適当
- (6) 誰でも参加できる（安価な）企画

2. 区画の取り方等

- (1) 正方形に取り、地形によっては1,500㎡以上が良い。
- (2) 保安林の場合は、制限が多いので全面解除が必要。

3. ログハウスについて

- (1) タイプを多くし、浴室、厨房はゆとりある広さにすること。
- (2) 自由に設計ができること。

V 今後の課題

1. ログハウスのメンテナンス（維持管理）

建物の長期にわたる密閉状態から生ずるいろいろな問題点及び、冬期間の水道管理等が課題として取り組む必要がある。

2. 暖房用薪の供給、販売体制の確立

年間、2,000～3,000束が必要なため、コンスタントに需要に対応できるよう、署のプロジェクトチームを通じて供給、販売体制の確立を図る。

3. 日常生活を円滑に進めるための連絡協調体制の確立

入居者協議会が結成され、役員も決定して2年目を迎えたので、会のスムーズな運営と、事案処理は管理人を通じて対応するとともに、営林署もバックアップする体制から入居者が安心して快適な生活を営めるよう協力する。

4. 入居者に対する、分収育林、分収造林のPR

この制度を知らなかったが、関心を持っている方々が意外に多いので、今後はパンフレットの配布、ログハウスの訪問などを通じてPRし林業経営の参画を呼びかける。

お わ り に

この事業は、全国のモデルであることを常に意識して、変わりゆく国有林野事業の姿を肌で感じながら、新たな問題への対応、協調の必要性との認識に立ち、アンケートを通じて知りえたことをさらに分析して今後の参考として行きたい。